

平成28年度自己評価結果報告書



平成28年6月1日

■ 園の概要

当園は、埼玉県越谷市に昭和 47 年 4 月に学校法人として開園しました。

長年、産業道路沿いの「ピンク色の幼稚園」として子ども達の日ひく園舎にて幼児教育を行ってきました。平成 25 年 4 月、園舎の老朽化や交通量の多い道路事情を考慮し、よりよい教育環境をめざし川柳町へ移転、新築いたしました。

待機児童の増加という現在の子育て事情を鑑み、「少しでも、地域の子育て環境を良くしたい。」との思いから、保育園部門を設置し「認定こども園」として同年開園致しました。

平成 27 年「子ども子育て新制度」に伴い、幼稚園部門・保育園部門が統一され、新たなスタートを切っております。

■ 本園における園評価のねらい

新制度移行に伴い、幼児組・乳児組が一体となって連携を図り試行錯誤しながら園行事・園運営につとめてきたがまだまだ「一体感」という意味では十分とは言えず、全てにおいて手探り状態で 1 年間で終了致しました。新しい制度で 2 年目を迎えた 28 年度はより一層の充実や発展を計り、外部の皆様の感想を求めたり、意見を出して頂く機会を設けたく、園評価を実施する事にしました。

学園理念

【教育目標】

つよい体やさしい心の子どもに育てる。

【保育目標】

家庭の保育かつ集団生活における教育の中で一人一人がいきいきとした生活を送る。

【経営理念】

子ども・保護者・教職員に対するサービス心の経営。

基本方針

総合的な経験や具体的な活動を通して、情緒の安定した安全な生活を送り、心身の健全な発達を図る。子育て付加事業により、保護者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性を図り社会的役割を果たす。

教育目標

- 一、心身共に健康で明るい子ども
- 一、がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども
- 一、優しく素直で、思いやりのある子ども
- 一、ご挨拶の出来る子ども

具体的目標・計画

① 教育課程・指導

- ・年間指導計画、週案、月案などの作成
- ・チーム保育などでの職員間の連携

・週案や月案などを作成することより、一日の保育の流れなどを明確にする事が出来る。
・当番などで、部屋を離れる時や有休時に担任の先生に代わり部屋に入ってくれる職員に対して申し送りなどを行い、その日の保育が運営できるように努めている。

② 保健管理について

- ・乳幼児に対する日常の健康観察
- ・環境検査の実施感染症対策
- ・感染症対策（手指消毒、除菌）

・園児の登園時や、保育室では常に目を配り、日常と変わりが無いか観察。
・毎年1度、委託業者による水質検査を行っている。

③ 安全管理について

- ・防災用品の購入
- ・登降園時の送迎車や自転車の誘導
- ・電子錠による施錠

・災害時に向け、備蓄品を収納する防災倉庫、ワイヤレスアンプを購入。
・定期的な AED の電池残量確認。
・普段から、登降園時の送迎車や自転車の駐車・駐輪を促し安全管理に努めている。

④ 組織運営について

- ・教職員への勤務要綱マニュアルの周知（年度当初）
- ・教職員への情報の取り扱い方針の周知（年度当初）

・年度当初に教職員で勤務要綱マニュアルの読み合わせを行った。それと同時に個人情報の取り扱い方や、守秘義務についても周知した。

⑤ 研修（資質向上の取組）

- ・資質向上のため全教員が園外研修へ参加

・各保育士、園外研修への参加は積極的に行っているが、園内研修に関してはシフト制の勤務体制ということもあり、全職員が集まるのが難しく、園内研修を行えていないというのが現状です。
今後は、シフトや時間等を工夫し園内研修を行い、全職員が同じ意識を持っていけるようにしていきたいと思う。

⑥ 情報提供

- ・園だよりやクラスだよりなどを通して、保護者に情報を提供
- ・HP を通して園内の情報を提供
- ・ブログや、エントランス内に設置しているモニターにて、その日の出来事を見る事が出来る

- ・園だよりに記載してある、予定表により行事などを周知して頂いている。
- ・HP の新着情報により、園の最新情報を提供。

⑦ 保護者・地域住民との連携

- ・地域との連携を図るため、在園児と共に地域の小学校へ訪問しボトルキャップ寄付
- ・集団感染などが流行る時期など、小学校との情報交換を行っている

- ・園行事の「お店屋さんごっこ」で集めた廃材のボトルキャップがあまったので、地域交流をかねてボトルキャップを集めている近隣の小学校へ寄付をしに出掛ける。
- ・町内会のお祭りへの参加。

⑧ 子育て支援

- ・幼児教室「スターキッズ」
- ・月数回の「園庭開放」
- ・相談内容に応じて、担当者が個別に対応する「子育て相談」

- 未就園児のプレスクールを月に一度 開催している。
- また5月～10月は2・3歳児、11月～3月は0・1歳児と対象年齢を分けて、教室を開催することにより、月齢に合ったものを提供できている。

⑨ 預かり保育

- ・就労の有無に関わらず、教育標準認定（1号認定）の方は、幼稚園型一時預かり保育「エンゼルルーム」を18:00まで行っている。

- リフレッシュを兼ねての、エンゼルルームを利用も可能。

⑩ 教育環境整備

- ・遊具などに危険箇所がないか、定期的に点検を行っている。
- ・園庭や園舎など、危険箇所がないか定期的に点検を行っている。

- ・修繕箇所を発見した際は、園長まで直ちに報告。
- その後、必要とあれば業者を呼び対応。

教育目標の達成、学年の年間目標に対する評価

項 目		28年度の… 達成状況・評価・反省
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ つよい体 ・ やさしい心の ・ 子どもに育てる 	<p>幼児は朝のランニングを継続的に行うことにより、子ども達の体力が向上している。</p> <p>乳児はハイハイや伝い歩きなど、今後の身体運動の基礎となる動きが多いので、充分に楽しんで行えるように配慮したいと思う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭的保育かつ ・ 集団生活における教育の中で ・ 一人一人がいきいきとした ・ 生活を送る 	<p>新入園児の保育認定の子ども達に対し、体力面を考慮し慣れるまでは、ゆったりとした時間や休息できる場所を設けた。2学期になると体力もつき、園生活にも慣れ活動の時間を増やすことが出来た。</p> <p>子ども一人ひとりの思いや気持ちに気付き受け止め、その都度1対1で関わる事で無理なく生活を送ることが出来た。</p> <p>家族との連携を大切にしながら、充実感や満足感を味わえるような保育を行えた。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身共に健康で明るい子ども ・ がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども ・ 優しく素直で、思いやりのある子ども ・ ご挨拶の出来る子ども 	<p>基本的な生活リズムを繰り返したり、たくさん話しかけることで、場面に応じた挨拶や返事が出来るようになった。</p> <p>子ども達の思いや気持ちに寄り添い理解して行く事で、情緒が安定し心の優しい子になると思う。子どもの内面を理解しながら保育を行っていきたい。</p>

項 目		28年度の… 達成状況・評価・反省	
学年の年間目標	乳児組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛情豊かな保育者との信頼関係を築き、安心して自己主張したりする。 ・ 基本的な生活習慣を身につける。 ・ 気持ちの自己コントロール。 ・ 様々な物に好奇心や関心をもち自分の思いを表現する。 	<p>一人ひとりの発達に応じた関わりをすることで、身体的発達もしっかりし、自己主張もしっかり出来ていた。</p> <p>ルールや約束事を生活に取り入れていく事で、気持ちの切り替えもスムーズになり、達成感や満足感を味わい次の活動にも進んで行えるようになった。</p>
	年少組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団生活に慣れ、友達と関わり遊べるようになる。 ・ 遊び生活を通して自分の思いを自分なりの言葉で表現する。 	<p>言葉の理解が貧しい子に基本的な生活習慣が身につくのに3学期までかかったが、ほとんどの子が達成出来た。</p> <p>言葉でのトラブルがあったがトラブルから仲良くなったり、遠慮せず関われるようになった。ルールのある遊びから様々な子と遊ぶことが出来ていた。</p>
	年中組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いを言葉にして伝えられると共に相手の気持ちも考えられる思いやりの気持ちをもつ。 ・ 集団生活や遊びのルールを守りながら活発に遊び、仲間意識を育てる。 	<p>個人差はあるものの、自己主張はだいぶ出来るようになってきた。</p> <p>しかし、自分の思いを我慢して譲る等は課題が残る。</p>
	年長組	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループやクラス全体の中で自分の役割を見つけ自主的な態度がとれるようになる。 ・ 友達との関わりの中で相手の気持ちが分かるようになり、言っではいけないことが分かるようになる。 	<p>クラスでの目標を達成することで、全体が信頼できるようになり、一人ひとりの役割を持てるようになっていった。</p> <p>沢山の言葉を知り、きつくなってしまったり、自己中心な子がでてきてしまい、相手のことを考えられるようになるまで時間が掛かった。</p>

園務分掌から

評価 A…達成された B…おおむね達成された C…要改善

分掌	27年度の… ◆問題点 *検討点 ★良かった点	評価	28年度への改善点
式関係 (始終業式・卒園式)	◆終業式は配布物や、持ち帰るものが多く慌ただしい…。時間の余裕があまり無い。 ◆卒園式の準備が直前にバタバタしている所もあった。予行練習を本番に近づけるほうが良いのでは…	A	→事前に配布出来るものは配布するなどの対応がしたい。 →本番さながらの雰囲気作りを行う。
伝統行事、こどもの日等	★乳幼児が同じように行事に参加し子ども達が伝統に触れる事を楽しめた。	B	→アレルギーの子もいるため、行事などに出す飲み物はカルピスではなくジュースなどにする。
食育	★色々な食材などに触れ、作ったものを食べられるのは良かった。 ◆バター作りは、年少組には難しかった…	B	→感染症が流行している時期は、食育教室は避ける。 →学年によっては、適していない食育教室などがあったので、委託業者と連携をとり今後の食育教室に役立てていく。
誕生会	★出し物が毎月違うものが良かった。 *司会進行の仕方に統一性がなかった。 ◆ピアノやマイクなどの事前準備が不十分だった。	B	→誕生児ではない子ども達の、座る場所が定まっていない…。 色々な場所を試して、一番適しているものを定める。
避難訓練	★全学年で行っているので、気付いた点などを全職員で話し合える。	B	→いざという時に備え、抜き打ちの訓練も増やしていった方が良い。
安全指導・安全点検	*雨のため交通安全指導がDVD放映のみになってしまった… ★ハサミ、粘土ヘラ、箸などの使い方を繰り返すことで、安全に使用することが出来た。 *危険箇所などや環境整備などを各クラスで行えると良い。	B	→ホールでも行える安全指導を提供して頂く。 →危険行為がないよう、今後も見守りや声掛けを行っていく。 →チェック表をつくり、環境に対して敏感に過ごせるようにする。
遠足	★乳児組のピクニックをすることで自然に興味をもてたり、異年齢との関わりがあり良かった。 ★保護者の作ったお弁当を食べる機会にもなり、保育者や友達と楽しく過ごせた。	A	→0歳児用のベビーカーがあるとより良いお散歩や遠足が出来る。 →園外保育などを増やしていき、外に出る機会を増やす
水遊び・夏季プール	★プールでの約束が守れ、事故なく楽しく過ごせた。 ★夏季で担任が不在の時も、職員の連携がしっかり取れていて、事故無く過ごせた。	B	→今後も熱中症や、水の事故に気を付けながら水遊びやプールを楽しむ。 →遊べるおもちゃが限られているので、年齢に合ったおもちゃがあると良い。
飼育栽培	★野菜嫌いの子も自分で栽培した野菜なので食べられた。 ★乳児組も他学年が栽培しているものを観察したり触れたりの良い経験になっている。	A	→今後も継続し、さまざまな野菜に興味をもってもらおう。 →乳児組にも可能な、植物や野菜などの栽培に取り組む。
乳児組・幼児組の連携	◆乳児組、幼児組の教諭が子どもの年齢に合った互いの行事に対して理解していない。 ★幼児組の子ども達が、乳児組の子ども達の事を気にかけるようになった。	B	→こども園の教諭としてきちんと理解していく。
園外研修	★研修で学んだ事を園全体で共有出来た。 ★興味のある研修に参加できた。	B	→今後も積極的に探して参加を増やしたい。

分掌	27年度の… ◆問題点 *検討点 ★良かった点	評価	28年度への改善点
懇談会、面談	*15分という定められた時間の中で終わることが出来なかった。 ★園と家庭での様子を伝え合う場となり共通理解が出来た。	B	→途中でも話をまとめて終わるように努力する。 →事前に伝えたい事をまとめ、きちんと園での様子を伝えていきたい。
読み聞かせ	★大切にしてきた事なので、毎日たくさんの絵本を読み、発語や情緒を豊かに出来るようにしたい。 ◆絵本を読むだけでなく、表現の仕方や本や紙芝居の持ち方を見直す。	A	→選び方を工夫する。 →子ども達にしっかり伝えられるよう、保育内容も見直していく。
学年のコミュニケーション	★クラスの様子や子ども達の様子(悩み等)話し合うことも多く、学年の仕事も上手く調整をつけて行うことが出来た。 ★乳児会議を週に一度行い、製作や連絡、行事等の話し合いを行うことができた。 ◆学年によっては情報交換、共通意識を持つことが出来なかったように思える…	A	→情報交換をし、コミュニケーションを沢山とってクラスだけでなく学年でみるという形にしていきたい。 →他のクラスへの気配りを心がける。 →声を掛けあい、共通意識を持てるように心がける。
子どもと遊ぶ大切さ	★遊びの中で発見や楽しさが生まれるよう、ごっこ遊びの環境作りの考え方を配慮できた。 ◆目の前のことに追われてしまい、朝や帰りの時間の子ども達との交流が減ってしまった。	A	→遊ぶ中でルールや約束事をこまめに伝える。 →子ども達との時間をとれるよう努力する。
子どもに対しての言葉がけや関わり	★1対1で子どもと向き合い関わる事が出来た。 ◆教育者という立場での言葉がけを工夫していきたい。	AB	→子どもが少なくても背を向けて仕事をせず関わられるよう環境を第一に考えるようにする。 →子ども達や後輩職員の手本になるよう心掛けたい。
職員会議など	◆会議録だけでは見落としや、意味が伝わらないことがあった。 *会議録の書記が偏ってしまっている。 ★各学年の様子や気になる子が周知出来る。	BC	→会議に出た先生が、重要なことなどを学年の先生に申し送りをする。 →会議後、書記は記入したものを確認してもらう。 →回数などを記録し公平にしていく。
施設・設備	◆乳児用の(0-1歳)戸外遊具が足りない。月齢が低い子どもは園庭遊具で遊ぶのが難しい…。 ◆排水など、悪臭がする場所がある。	B	→簡易的な乳児用の戸外遊具がほしい。 →朝、排水口に水を入れて対応しているので今後も継続していきたい。
その他	*乳児に比べ幼児は、園外保育が少ないので、幼児も出掛けたい。 ◆全職員が一同に話し合うことが出来ないので伝達が難しい…	B	→月に一度でも良いので、近くの公園や広場などに散歩に出掛けたい。 →それぞれが声を出し合い、気付いたことなど、声を出し合う。

以上

全教職員への周知・園内掲示・HP上への公開を行うものとする。